



資料室 ニュース

Vol.35
2008年3月28日
●発行●

特集 「阪神・淡路大震災後の防災教育」

今回は、阪神・淡路大震災後の防災教育について取り上げます。震災の教訓をもとに始められた取り組みや、当センター所蔵の関連資料を紹介します。



阪神・淡路大震災以降の兵庫県の防災教育

阪神・淡路大震災では、多くの子どもたちや教職員が犠牲となり、教育施設も大きな被害を受けました。兵庫県は、震災から学んだ教訓を教育に生かすため、阪神・淡路大震災直後から、「新たな防災教育」を進めてきました。具体的には、防災教育副読本の発行、学校防災マニュアルの発行、教育復興担当教員の配置、防災教育専門推進員の委嘱などがその例です。

防災教育副読本（写真右）は、同世代の子どもたちが震災の中で「どのように生き、立ち向かおうとしたのか」を見つめ、「自分たちの未来にどう生かし、後世に何を伝えていくのか」を考えるために作されました。児童・生徒の発達段階に応じて、幼稚園用、小学校低学年用、高学年用、中学校用、高等学校用の5種類があります。そして、各学校園で、各教科、科目、道徳、特別活動などの学習内容と関連づけながら、災害のメカニズムやボランティア活動、心の教育などの防災教育の実践を進める手引きとして用いられています。

学校防災マニュアルは、教職員らに示す学校と防災の具体的指針として、被災から3年後の1998年に作成されました。学校の日常の安全対策から地震発生時の危機管理、災害時に避難所として果すべき学校の役割などが詳細に記されています。



震災当时、避難所となった小学校で遊ぶ子どもたち
兵庫県広報課撮影

また、教育復興担当教員は、震災後に心の健康について教育的配慮が必要とされる児童・生徒のために配置され、子どもたちの被災状況の把握や、心の健康相談活動を行ってきました。そして、それと同時に、新たな防災教育の推進と児童・生徒の心の理解とケアをいっそう充実させるために、防災教育専門推進員も委嘱されました。防災教育専門推進員は、各地域の実態調査をし、学校訪問などを通じて防災教育の充実を図っています。

そしてそれ以外にも、県立舞子高校には全国初の災害専門学科となる環境防災科が新設され、災害や防災に関する知識を教えるとともに、ボランティア活動などの体験学習も行われています。

引用・参考文献

(財)阪神・淡路大震災記念協会発行（1999）『阪神・淡路大震災復興誌第3巻』 p337-345

(財)阪神・淡路大震災記念協会発行（2006）『阪神・淡路大震災復興誌第10巻』 p318-319、p354-360



防災教育副読本 「明日に生きる」

さまざまな防災教育の教材

兵庫県の取り組み以外にも、さまざまな団体や学校などが独自に防災教育の教材の開発を進めています。特に、ゲームを通じて防災を学ぶという教材が増えてきており、資料室でも防災教育関係資料の収集の一環として防災ゲームを収集、所蔵しています。また、ゲームといっても、子どもを対象とするものだけでなく、大人が学べるものも多くあります。資料室が所蔵する防災ゲームの一部をご紹介します。

● クロスロード 市民編

対 象：一般



クロスロードは、災害にまつわるジレンマを疑似体験できるように作られたゲームです。クロスロードとは、「分岐点」を意味します。災害後に、何か問題が起こった際に、どうするべきかを2つの答えのうちから選び、なぜその道を選んだのかを参加者どうしで話し合うカードゲームです。

「市民編」は、一般の住民が災害時に直面するであろう身近な問題をカードにとりあげています。「神戸編」というバージョンもあり、こちらは阪神・淡路大震災時の神戸市職員のジレンマを元にカードが作られています。

【制作】 チームクロスロード（網代剛・吉川肇子・矢守克也）

● 神経衰弱&カルタ

対 象：小学生以上

右の写真は、神戸市立葺合高校と、トルコのブルサ市ニルファー高校の生徒が共同で考案したカードゲームです。神経衰弱としても、カルタとしても遊ぶことができます。大震災を経験した国的学生たちどうしで意見を出し合いながら、防災の知識を得ることができるカードを作ったそうです。

写真はオリジナルバージョンで、資料室には日本語版と英語版のサンプルバージョンがあります。

【制作】 神戸市立葺合高校、トルコ・ブルサ市ニルファー高校



※モンディアロゴ・スクールコンテスト入賞作品

● ぼうさい駅伝

対 象：子ども、一般



ぼうさい駅伝は、すごろくをモチーフに作られた、防災に関するクイズに答えてコマを進めていくゲームです。普通のすごろくと違う点は、二人一組になり、一人がランナー役、もう一人はサイコロを振る役に分かれて遊ぶ点です。道に色づけがされていて、色が変わると役を交代します。駅伝のような進め方になっています。

【制作】 防災ゲーム研究会（問い合わせ先は、財団法人 市民防災研究所）

● ぼうさいダック

対 象：幼児

ぼうさいダックとは、幼児向けの防災カードゲームです。いろいろな災害や日常の危険に応じて、そのときにどのような行動をすればよいのかを、体を動かしながら幼児に覚えてもらうゲームです。カードの表面には災害のイラストが描かれており、カードの裏面にはとるべき行動（ポーズ）のイラストが描かれています。

【制作・問い合わせ先】 社団法人 日本損害保険協会



所蔵資料から見る防災教育

当センターでは、防災教育に関連するモノ資料も収蔵しています。以下の資料は、防災教育の取り組みの一環となるものです。

手提げ袋兼用防災ずきん ぐらっとバッグ「かぶっちょき」



写真（上2つ）は、高知県の主婦らのグループ「ドリーズイースト」によって作られた、子ども向け手提げ鞄兼防災頭巾です。普段は通学用の手提げ鞄やリュックとして使え、いざというときは頭巾に変形します。

寄贈者で代表の谷口さんは、震災の年にお子さんが生まれ、高知から被災地に義援金を送っていました。しかし、被災地に駆けつけることができないことで歯がゆい思いをしたそうです。また、自分の子どもが生まれた年に、多くの尊い命が犠牲になったことに胸を痛めたそうです。震災が起きたときからこのような思いを持ち続けており、その思いが、ぐらっとバッグ「かぶっちょき」の考案へとつながったと言います。

ぐらっとバッグ「かぶっちょき」は、当初は制作販売のみをしていましたが、生産が追いつかなくなり、手作りキット（写真左）も販売するようになりました。谷口さんは「親子で防災について語り合いながら作って欲しい」と語っておられました。

（提供：ドリーズイースト）



関連図書の紹介



防災教育に関する図書・資料です。資料室に所蔵していますので、関心を持たれた方はぜひお越しください。

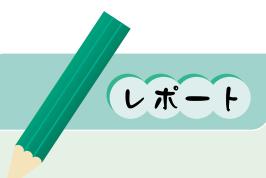
<大人・教師向けの資料>

題名	著者・記事作成者	発信者・発行者
夢みる防災教育	矢守克也、諏訪清二、船木伸江	(株)晃洋書房
教師のための防災教育ハンドブック	山田兼尚（編）	(株)学文社
震災・学校支援チーム EARTHハンドブック	EARTH実践活動スキルアップ調査研究会 震災・学校支援チーム（EARTH）事務局（編）	兵庫県教育委員会
ポートフォリオでプロジェクト学習！ 地域と学校をつなぐ防災教育	鈴木敏恵	(株)教育同人社

<子ども・学生向けの資料>

題名	著者・記事作成者	発信者・発行者
しあわせ はこぼう※	神戸市教育委員会(監修)	(財)神戸市体育協会
子どもたちへのメッセージ集 2007 命の尊さと震災の教訓を語り継ぐ		神戸市・神戸市教育委員会
日本に住むための必須！！防災知識 中学・高校・一般向け	社団法人 土木学会 国民の防災意識向上に関する特別委員会（編）	社団法人 土木学会
ボランティア わたしたちにできること 全8巻	池田明彦(監修)	(株)ポプラ社

※「しあわせ はこぼう」は、小学校1・2・3年用と小学校4・5・6年用があり、中学校用には「幸せ 運ぼう」があります。



第8回 阪神・淡路大震災資料の保存・活用に関する 地域連携研究会

去る平成20年2月13日に、神戸大学文学部地域連携センター主催のもと、「第8回 阪神・淡路大震災資料の保存・活用に関する地域連携研究会」が開催されました。今回の研究会は「展示と資料」をテーマに、1月にリニューアルされたセンター常設展の見学会もあわせて行われました。センター資料室からは展示のリニューアルの経緯や変更点、新展示のコンセプト等を解説するとともに、資料室の現状と課題を報告しました。また神戸大学附属図書館からは、インターネット公開の変化などの現状が報告されました。

各報告後も、他機関の現状報告や、展示見学の感想をきき、また質疑応答が活発に行われ、有意義な研究会となりました。

発表者と発表題目は以下のとおりです。

高野尚子（人と防災未来センター資料室）

「展示と資料」

吉村俊美（同上）

「人と防災未来センター資料室の現状と課題」

田原勝典氏（神戸大学附属図書館）

「神戸大学附属図書館『震災文庫』の現状」



＜研究会の様子＞

お知らせ

人と防災未来センターオリジナル「防災学習用ワークシート」配布について

人と防災未来センターでは、子どもたちの防災学習をより一層深めてもらうために、小学校3年生以上を対象とした防災学習用ワークシートを作成しました。ワークシートには、阪神・淡路大震災に関わる質問をはじめ、災害や防災の基礎知識に関する質問などが含まれています。ワークシートは当センター内で無料配布し、また、当センターホームページからもダウンロードできます。解説シートは資料室でのみ配布いたします。

当センター見学の際の事前・事後学習や校外学習、夏休み自由研究など幅広くご活用ください。

(財)ひょうご震災記念21世紀研究機構
阪神・淡路大震災記念

資料室は無料で
お入りいただけます

人と防災未来センター 資料室（防災未来館5階）

〒651-0073 兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2

TEL.078-262-5058 FAX.078-262-5062

HPアドレス <http://www.dri.ne.jp>

開室時間 9:30～17:30(7月～9月は18:00)

閉室日 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日) 12月29日～1月3日